

あかるいまち 21

組合員活動ニュース No.563

2011年5月27日(金)

広島中央保健生活協同組合

組織部 TEL082-532-1264

FAX082-532-1267

毎月25日は「組合員利用率 100%デー」

医療福祉生協連が9月25日を「組合員利用率 100%デー」にしよう!という提起を受け、保健生協では年1回ではなく、毎月25日にこれを設定しました。毎月25日は生協の事業所を利用する方全員が「組合員」という状況を目指した取り組みです。

そもそもなぜ25日なのかというと、人々の「いのち」や「くらし」、「幸せ」を保障する憲法9条(戦争の放棄)と25条(生存権)にちなんだものですね♪♪♪

今回は、福島生協病院と生協さえき病院の取り組みの模様をご紹介します(ˆoˆ)／

【福島生協病院】



【新入職員も参加／生協さえき病院】

外来部門各診療科と事務課が協力して呼びかけチラシの配布と加入増資の声掛けにあわせて、新病院建設の紹介などを行いました。まだまだ新病院建設のことを知らない方が非常に多く、知らせていく必要性を強く感じました。しかし、建設の話をするとう立ち止まってくれる方が多くいらっしゃり、長い時間対話することができました。また、各診療科では、午後も診療してもらいたいや病院跡地に入所しやすい高齢者施設を作ってほしいなど、具体的な要望も対話の中からあげられました。

外来部門だけでなく、病棟でも取り組みが始まっています。病棟では入院患者の方々に担当看護師が加入増資の声掛けを行っています。

【生協さえき病院】

生協さえき病院では5月25日、総合待合周辺をいつもと少し雰囲気を変え、加入・増資コーナーや1階の外来・事務職員は胸にバッジを付け、総合受付には事務課新人2人が作ったデコレーションを貼り出し「何だかいつもと違うね。どうしたの?」と気付いてもらえるよう病院利用者さんを出迎えました。法被を着た職員がチラシを渡しながら「生協を知ってもらおう日です」

「お困りの事はございませんか」「福島生協病院の建設はご存知ですか」と声掛け、対話に取り組みました。対話活動では話しをしっかりと聞いてくださる方や身の上話をされるなど生協病院との繋がり、加入のお誘いを待っている方が多いのではと感じました。



【加入増資の呼びかけ／生協さえき病院】



広島中央保健生活協同組合